

次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会 第2回分科会開催

2月22日(月)次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会の第2回分科会を早稲田リサーチパークで開催しました。今回の講演は、早稲田大学創造理工学部総合機械工学科 吉田准教授による「車両・エンジンの軽量化の方向性とEV、HEV/パワーデバイス用放熱材料」についてお話いただき、続けて吉田研究室と経済産業省プロジェクト等で共同研究開発を行っている(株)コイワイ様の「レーザーおよびインクジェット方式 RP を併用した新しいエンジン・駆動系部品のIT化試作技術」、(株)イナテック様の「型製造・鋳造から先端5軸加工まで一貫したエンジン・駆動系部品の試作技術」以上二つの企業の技術について、ご紹介いただきました。

つづいて、環境・エネルギー研究科 小野田准教授による「地産地活型小型モビリティの開発と実証」についての講演をいただきました。どちらも会員にとって密接な話題であり、大きな反響がありました。

今回の会員企業プレゼンテーションは、株式会社秋山製作所の「先進的構造のシャフト技術」、株式会社久保田鐵鋼所の「シャフト鍛造加工技術・マツダ系自動車部品の製造」についてお話を伺いました。今回は、最後に経済産業省関東経済産業局地域経済部地域振興課/課長補佐 小林宏光様にもおいでいただき、戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)、地域イノベーション創出事業についても説明いただき、会員のみなさまにとって大変有意義な分科会となりました。



<講演風景>



<会員企業プレゼンテーション>

IOC本庄早稲田 入居企業募集!

インキュベーション・オン・キャンパス本庄早稲田(通称:IOC本庄早稲田)には、新規事業や研究開発に取り組む企業や個人起業家が審査を経て入居し、事業、経営について様々な支援を受けることができます。

随時入居に関しての相談を受け付けております。

最新の空室情報については

お気軽に下記までお問い合わせ下さい。

■問合せ先:入居募集担当

TEL:0495-24-7455

FAX:0495-24-7465



<入居部屋(約90m²)>



<共有会議室>



財団法人 本庄国際リサーチパーク研究推進機構

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011
TEL: 0495-24-7455 FAX: 0495-24-7465
http://www.howarp.or.jp/

無断転載を禁じます

本庄早稲田・リサーチパークニュース 2010.3

本庄早稲田の杜 第1回ものづくりフェア開催!

37企業・団体大集合!600人超の来場

2月28日(日)に早稲田リサーチパークにおいて初めての開催となる「ものづくりフェア」を開催いたしました。本庄地域周辺全37企業・団体の方に参加頂き、地域企業の技術、事業の発表会・展示、地元食品加工企業の試食、販売会を実施しました。

その他、本市市企業製造の救命いかだの膨張作動実験、展示、早稲田大学研究室のロボットの操作体験・1人乗り電気自動車・電動バスの試乗会など、親子連れでも楽しめるイベントを行いました。

午後にはダブル講演会として、第一部は「夢があるから強くなる」と題し、元Jリーグチアマン、現在早稲田大学特命教授でもある川淵三郎氏のご講演、第二部は「モノづくり立国を支える中小企業の底力とは!!」と題し、元・本田技研工業(株)エグゼクティブ・チーフ・エンジニアの野口満氏のご講演をいただきました。

今フェアは来場者数が600人を超え、大学と企業と地域住民が、地域の産業を知り、理解を深め、これからの本庄周辺地域の将来に期待を持つよい機会となりました。



<川淵三郎氏のご講演>



<野口満氏のご講演>



<試食販売会場風景>



<展示会場風景>

【参加企業・団体】順不同・敬称略

(株)エテコム東京/宮崎 量店/量光精機(株)/タツムテック/ロジール(DOWA)ハイテック(株)/エコシステムリサイクリング(株)/徳島防水加工所/旭産業(株)/サントク(株)デリフレッシュ/シエリエ/旭化成テック/プラス(株)/日生工業(株)埼玉工場/徳金冠堂/オキノ工業(株)/住ベテック/プラステック(株)/東洋パーツ(株)/関根桐材店/本庄青石研究会/子供110番ハウス(有)/ラジエンスウエア(株)/株エム・ソフト/赤城乳業(株)/築野食品工業(株)関東工場/NPO法人 キャンパー/もぎ豆腐店(株)/高橋ソース(株)/味味輝/大平戸農園/山下ゴム(株)埼玉工場/PLAMO(株)E・T・E(株)/沖電気工業(株)/ジェビーエレクトロニクス(株)/早稲田大学永田研究室/早稲田大学紙屋研究室/早稲田大学高西研究室



<1人乗り電気自動車・展示>



<地元企業製造救命いかだの展示>

電動バス出展 in さいたまスーパーアリーナ



<コバトンやワセダペアーも応援に>

1月27・28日にさいたまアリーナで開催された「彩の国ビジネスアリーナ2010」に電動バスを出展し、展示・試乗会を行いました。

展示ブースでは、早稲田大学との共同研究や次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会などの紹介、研究等に関する相談を受け付けました。

一方特設ブースでは、早稲田大学が開発した電動バスを展示するとともに、さいたまアリーナを周回する試乗会を実施いたしました。電動バスの展示・試乗会には試乗された方だけでも2日間で200人を上回る多くの来場がありました。当財団では、電動バスの普及促進に向けて、今後も共同で実証実験や試験運行を実施する予定です。様々な早稲田大学の持つ「知」を世の中の役に立つ形で提供していきたいと考えております。今後も当財団にご注目ください。



財団法人 本庄国際リサーチパーク研究推進機構

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011
TEL: 0495-24-7455 FAX: 0495-24-7465
http://www.howarp.or.jp/

無断転載を禁じます

小山川・元小山川魚類・水質調査を実施

～本庄市立藤田小、地域水環境再生勉強会による河川調査～



＜金澤先生のミニ講義＞



＜魚類調査集計中(数・種類・MAP)＞

本庄市内を流れる元小山川・小山川は、国土交通省がすすめる“清流ルネッサンスII”事業に選定された河川であり、地域協議会が発足し、水環境改善のための取り組みが数多く行われております。その取り組みの一つとして、当財団では、地域水環境勉強会の他のメンバー（早稲田大学榊原研究室、埼玉県環境科学国際センター、埼玉県本庄県土整備事務所、近隣企業な

ど）と協働し、本庄市立藤田小学校において、小山川、元小山川の河川調査を行っております。

今年度2回目の調査が2月10日(水)に行われました。児童たち(5、6年生55名)は寒い中、胴長とライフジャケットを着用し、川に入りました。たも網ですくうと思っている以上にメダカ、ドジョウ、タモロコなどが捕れました。この河川調査は、

2007年度より始まりましたが、活動内容が認められ、昨年、3月14日(土)の浦和パルコでの埼玉県主催「里川づくり 県民のつどい」において、県内小学校5校のうちの一つに選ばれ成果発表を行いました。今後も、当財団は、水環境改善のための取り組みを支援してまいります。

エコシティ・デザイン・ワークショップを開催

昨年10月から4回にわたり、「市民参加型の環境共生まちづくり」をテーマに本庄市役所において「エコシティ・デザイン・ワークショップ」が開催されました。このワークショップは、早稲田大学創造理工学研究科高口研究室が主催したもので、当財団、本庄市の協力のもと、環境NPO、地域住民、地元高校生など毎回30名ほどが参加しました。

JR本庄駅や本庄市役所を含む本庄東小学校地域を対象として、20年後の理想的なまちづくりについて話し合いました。第1回目は、検討課題の抽出で、協議の結果、緑化、交通、エネルギーという課題に絞られました。今年度は緑化と交通について、提案や意見をまとめることとなりました。このワークショップでは、毎回DCBAメソッドという手法を活用しているのが特徴です。第2回目は、「みどりのデザイン」ということで実際に街まち歩きを行い対象地域における緑地の将来像をデザイ



＜模型を使つてのワークショップ＞

ンしました。第3回目は、「人に地球にやさしいまち」と題し、対象地域における道路の整備状況をビデオで確認しながら将来の交通ネットワークをデザインしました。第4回目は、高口准教授による先進諸国の事例の紹介やこれまでの提案や意見を集約して学生が製作した対象地域の模

型をもとに緑化や交通政策についての重要度、優先順位などが協議され、2030年を目標に、どこまでの整備が必要であるかなどについてのまとめが行われました。このワークショップは、来年度も開催される予定です。

DCBAメソッドとは

デルフト工科大学教授 ケース・ダウフェスタインが開発したワークショップ手法。「ニューランド」や「デ・ヴェイク」といったオランダにおける環境共生住宅団地で応用され、高い評価を得ている。

上里町人権教育指導者養成講座

～早大留學生が参加～

2月19日(金)上里町女性センターにて開催された「平成21年度人権教育指導者養成講座」に本庄ドミトリーに滞在する早稲田大学大学院国際情報通信研究科の学生が講師として参加しました。この講座は、上里町の生涯学習課が開催しているもので、6回の講座を修了した町民には、「人権

を大切にする会」などに加入していただき、人権教育の指導者として活動していただいております。

上里町は本庄市同様、たくさんの外国人が暮らす街です。文化や風習の違いから生じる誤解をなくし、差別のない住み良い街を実現しようという目的のもと、留

學生が日本に来て感じたことについて、通訳を交え地域住民と意見交換を行いました。日本と留學生の国とでは、文化や風習の違いは多いものの、人を気遣い、人権を守っていくことについては変わりがないことをお互いに理解することができました。



＜留學生自己紹介＞



＜グループディスカッション＞

多国籍料理イン早稲田の森～パラグアイ料理教室～

2月21日(日)、早稲田大学本庄高等学院家庭科室において、当財団と本庄市国際交流協会の共催によるパラグアイ料理教室が開催されました。講師には国際交流協会メンバーのデ・ゴメス・ミリアム・コナリさん(伊勢崎市山王町在住)と遠藤孝枝さん(伊勢崎市長沼町在住)をお願いして、パラグアイの代表的郷土料理であるトウモロコシ団子入りスープとライスサラ

ダを作りました。この料理教室には、留學生やその家族を含む8歳から80代までの男女50名以上が参加したほか、吉田本庄市長も参加され、参加者との交流を図りました。

インフルエンザ感染拡大防止のため延期された今回の料理教室ですが、参加者にとって、待ちに待った再開となり、「愛情&気合」のたっぷり込められた料理を作るこ

とができました。

試食タイムには、スペシャルゲストとして、鈴木ネルソン君(伊勢崎市、高校2年生)によるパラグアイ民族楽器アルパの生演奏が行われ、参加された皆さんは、南米音楽の楽しい音色を聞きながら、出来上がった料理に舌づつみを打ちました。



＜料理風景＞



＜試食タイム＞



＜アルパ生演奏＞